

平成 21 年 6 月 19 日

名古屋市市長 河村たかし 様

## 弥富 相生山線道路工事凍結と生態系調査の要望

( 相生山緑地のヒメボタルを市の天然記念物に指定しエコミュージアムの森に )

日ごろは市民の目線の姿勢を貫かれ、市政に邁進され大変ご苦労様です。

さて、地球的環境問題をはじめ諸環境問題が、私たちの生活にも脅威となってきた現在、名古屋市は藤前干潟の保全など真摯に取り組み、環境先進都市を目指していると理解しております。さらに、来年度は生物多様性条約締約国会議（COP10）の開催地として、生物の多様性、豊かな自然環境を守ってゆく決意であると受け止めています。

しかしながら、市の東部にわずかに残された緑地、相生山緑地では、きちんとした生態系の調査や評価もせずに、もっとも豊かなコア部分に道路建設工事が進められ、生物の多様性が大きく損なわれつつあります。これは、私たちの潤いの空間を壊すだけでなく、COP10 を開催する方向性とは正反対であり、このままでは開催する資格はありません。

名古屋市は生物の多様性を確保する姿勢を、先ず弥富 - 相生山線の建設を凍結するという行動で示すべきです。

また、相生山緑地では、一部「オアシスの森」として守られ市民に開放されていますが、一方では事業予定地に建築許可や開発許可があり、年々緑地はスプロール状態がひどくなり、憂慮される状況です。

よって以下要望します。

- 1、日本でも有数なヒメボタル生息地である名古屋でCOP10 が開催されることから、良好な自然環境の指標であるヒメボタルを、COP10 のシンボルとしてください。
- 2、生態系の中心になっている沢を貫通する弥富 - 相生山線の道路工事を凍結し、緑地の生態系のコアを守ってください。
- 3、弥富 - 相生山線道路予定地の生態系の調査をしてください。
- 4、生態系調査はヒメボタルを注目種として調査・評価をしてください。その際、その生活史とその生息環境調査、および相生山緑地全体のパッチに存在するヒメボタル全般を調べてください（メタ個体群としての把握調査）。
- 5、生態系の調査と評価は、専門家と市民が対等な形で参加・検討できるようにしてください。
- 6、ヒメボタルを市の天然記念物に指定し、相生山緑地を生き物の豊かな都市緑地 = エコ

ミュージアムの森としてください。

参照：相生山エコミュージアム構想（2007年12月名古屋市へ要望）

以上

6月末までに文書でご回答をお願いします。

要望書共同提出団体・個人

団体

- ・ エコミュージアムあいち（名古屋市天白区）
- ・ 相生山緑地住民の会（名古屋市天白区）
- ・ ラブリーアース Japan（名古屋市南区）
- ・ 相生山のヒメボタルを愛する名古屋市民の会（名古屋市西区）
- ・ どんぐりの森ネットワーク（名古屋市東区）
- ・ 海上の森自然観察会（愛知県瀬戸市）
- ・ 自然を愛する会（名古屋市瑞穂区）
- ・ 市民ネット・みなみ（名古屋市南区）

連絡先 エコミュージアムあいち 代表 高岡立明

〒468-0037 名古屋市天白区天白町野並相生 28 - 208

052 - 895 - 5004